



春原正三郎

フロンティアクラブ会長

この度5代目の会長に選任、就任した春原正三郎です。学生運動激しい1972年法学部法律学科



神奈川大学
フロンティアクラブ会報

第 37号

発行日 2022年6月1日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局 神奈川大学 総務部校友課内
〒221-8686
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-481-2741

を卒業、今は無き三洋証券に入社、97年破綻後、共和証券に入社、両社で主に国内営業を40年間務めました。

当クラブとは設立準備から関わっています。初代会長はトヨタ自動車

の副社長を歴任された神尾秀雄先輩、その後皆川潔、鈴木實、村田龍也の先輩が就任され今年12月で設立25年を迎えます。当初はバブルの余韻からか会員は300名をはるかに超えていましたが破綻後80名を割り存続の危機に陥りました。現在は

春原新会長 就任のごあいさつ

鈴木、村田両会長の尽力で180余名までに回復してきています。フロンティアクラブをより活性化するには会員の数で決まります。設立当時の300名まで戻すのが理想ですが、まずは早急に200名を超えたいと思っています。当クラブも高齢化に入っていますので特に現役で各界で活躍されています。皆さまからのご紹介を強く

神奈川大学フロンティアクラブ新体制の報告

2022年度の総会が書面表決にて開催され、2月26日(土)を期限に集計した結果、全ての議案が承認されました。

これにより、主な事業計画案及び予算案が承認されるとともに、新たに4名の運営委員が加わりました。今年度も、会の運営にご理解ご協力をお願いいたします。

◆主な事業計画

【組織・広報】会員拡大と交流機会を多く設けることにより、会の充実・発展につなげます。今年度は会のホームページを更新し、活動を外に発信できるよう努めます。

【奨学金】引き続き奨学金制度を支援し、新たな募金政策を検討するとともに、奨学生との交流を

求めます。

また、箱根交流会をはじめ多くの交流会を通じて会員間の親睦を進め、異業種交流の親交を深め、大学当局の協力を得て在学生に村橋フロンティア奨学金給付、会員による講演会、業界説明会、フロンティアサロンへのお誘い等充実していきます。

会員の皆さま、事務局の校友課の皆さんよろしくお願ひします。

図ります。また奨学金基金の在り方等について検討します。

【産官学】サロンの参加対象者を広げ、会員交流を促進します。会員企業等への見学会を計画します。

◆新運営委員体制(氏名/卒業年/卒業学科)

会長(春原正三郎47法律)

副会長(原柳作46英文、實方誠一48工経、石渡卓51貿易)

運営委員【組織・広報】(委員長: 亀山修一50英文、伊藤孝雄47経済)

萩谷紀之56法律、相神一裕56経済)

【奨学金】(委員長: 小林照夫50経済、中野健一45経済、小菅貴春

H9経済)【産官学】(委員長: 小林二三夫48貿易、田原清彦49貿易、坂本郁夫52工経、末吉孝弘60法律)

新理事長、新学長 就任のごあいさつ

未来を見据えた様々な改革を

4月より理事長となりました日野晶也です。フロンティアクラブの皆さまには、日頃より神奈川大学に對しまして、多大なご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。神奈川大学を代表して厚く御礼を申し上げます。



学校法人神奈川大学
理事長
日野 晶也

私が湘南ひらつかキャンパスに開設される理学部の開設準備委員会に招集を受けたのは昭和63年5月の事でした。現在、横浜キャンパスでは入試センター（16号館）のある場所に、当時は生協として利用されていた大きな平屋の建物がありました。そこへ、本当に私学に理学部ができるのだろうかと思案を抱えながら、名古屋大学に奉職した時には求められなかった実印と印鑑証明を持参しました。その不安は、初めて神奈川大学の事務局の方とお会いし、一挙に払拭されました。

皆さまの熱意を強く感じると同時に、卒業生の方々が大学の運営に当たっておられるのが分かったのです。湘南ひらつかキャンパスの1期生を迎える入学式は、平成元年4月に横浜キャンパスの講堂で行われましたが、この場所では今年度開設された建築学部の工房が建設中です。また来年度には工学部と理学部の再編とともに、化学生命学部と情報学部が新入生を迎える予定です。学部新設には、教育内容だけでなく、卒業後の進路についての目算がたっているかも問われますが、このような場面でも、本学を卒業され社会の中核を担っておられる

方々、なかでも突出した業績をお持ちの方々のご存在とお力添えが、本学にとって得難い宝となっております。本学の発展には卒業生の皆さまのご活躍が欠かせません。また、現役の学生に對してもフロンティアクラブからの奨学金は特別な意味が持たれています。先輩から後輩に差し伸べられるご支援は保護者の方々にも理解され、本学との強い絆として受け継がれています。本学は、来るべき創立100周年とその先の未来を見据えた様々な改革の途中にあります。フロンティアクラブの皆さまには、フロンティアサロン等のご活動も含め、益々のご発展を祈念するとともに、今後とも本学の未来へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

100周年にむけ更なる発展を

4月より学長に就任いたしました小熊誠です。フロンティアクラブの皆さまには、日頃より奨学金をはじめ本学の運営につきまして格別のご高配を賜り、神奈川大学の



神奈川大学学長
小熊 誠

来るべき100周年にむけ、これらの改革の歩みを緩めることなく更なる発展を目指す所存です。教学運営においても、常に「人をつくる」大学であるということを念頭に置き、教職員一体となって同じ目標に向かって高めてまいります。この数年、コロナ禍による影響で大学の在

り方も大きく変貌しました。しかし、歴史を振り返れば、人類にはさまざまな災禍が何度も降り掛かり、その都度困難な局面を乗り越えつつ、次の時代を切り拓いてきました。今回のコロナ禍に關して、この貴重な経験を基礎にして、新たな教育の在り方を考える契機にしたいと思っております。そのためにも、皆さまの協力が不可欠です。フロンティアクラブ

この4月には建築学部を新設しました。さらに、2023年度には理学部が湘南ひらつかキャンパスから横浜キャンパスに移転します。理学部、工学部、建築学部の3学部に加え、現在設置構想中の化学生命学部と情報学部を新設して5学部となり、理工系の学部が横浜キャンパスに集結します。

汗流し 知恵絞り そして感謝する」を行動指針に掲げ、地域密着型の金融業務を行っています。お客さまの様々なニーズに對して、資格保有者が多数在籍する「地域活性化課（チーム湘南）」を中心に全役職員がスピーディーな課題解決に取り組んでいます。

の重要な活動の一つであるフロンティアサロンはすでに125回を数え、最近ではオンラインでも配信すること、会員のみならず多様な参加者の集う場になっていると聞き及んでいます。今後、貴クラブのより一層のご発展を祈念するとともに、本学への永続的なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

新運営委員紹介

※企業名・役職は、定時総会時（2022.02.26）記載を含みます。

会長

春原 正三郎



元共和証券株式会社取締役営業本部長

副会長

原 柳作



元株式会社神奈川新聞社理事

實方 誠一



元(株)ハンスイ代表取締役社長

石渡 卓



湘南信用金庫相談役

湘南信用金庫は「つくろうわが街 果たそう役割」をテーマに「靴底減らし 耳傾け

運営委員【組織・広報】

亀山 修一



ムラカワ株式会社顧問

私は長年乳製品関係の外資で働いていたのですが、縁があつて4年前からムラカワ(株)に勤務しています。この会社は赤いロゴでお馴染み

伊藤 孝雄



株式会社エフケイ・ジャパン代表取締役社長

のJUCOVIAブランドのチーズの年間売上高で日本一、アジア一のチーズの会社です。スーパーなどで見かけられましたら、蛋白質やカルシウムが豊富で美味な弊社製品をお買い上げ頂ければ幸いです。

萩谷 紀之



株式会社丸運ロジスティクス関東代表取締役社長

当社はグループ理念に基づき、社会・経済活動のインフラを担い、持続可能な社会の実現に貢献するため、ESG経営を推進しております。グループの柱となる経営理念は、創業者が唱えた「利他自利」精神を継承しています。「他人のために利益を図ることによって、初めて自らも利益を得ることができるとの考えのもと、グループ社員一人ひとりが「こういう会社でありたい、こういう行動を取りたい」と考える際に目指す方向を示しています。

フロンティアクラブ会員紹介



田中 輝夫
カイロプラクティックの道に転身

平成10年 第二工学部機械工学科卒

昨年8月に当院に来院された患者様にご縁でこの度神奈川大学フロンティアクラブに入会させていただきましたこととなりました。田中輝夫と申します。
大学時代と現在の職業は全く無関係ではありますが、活かされている部分も多くあることを実感しております。
私はずっと横浜で育ち1997年に第二工学部機械工学科を卒業し、三菱重工の関連会社に入社しプラント設計を5年弱携わりまし

た。その間中国に半年の間滞在し現場監督をするも現地ワーカーは思うように動いてくれず、自ら現場作業を行いました。すると現地ワーカーも少しずつ小生の熱意に動かされたのか協力してくれるようになりました。なんでもそうですが一緒に汗を流すことで同じ目線で仕事をしないと人は着いて来てくれないし動いてはくれませんね。入社5年弱で婚期をきつかけにサラリーマンを辞めました。理由は文字数の関係で割愛させて

頂きます。
その後、「自分を活かした職業ってなんだろう？」と考えたときに、子供のころに祖母や両親の肩たたきをして「あり、気持ち良かった、ありがとう！」と言われて嬉しかったことを思い出しました。「これが仕事になるといいなあ」と思い、手に職を着ける業種を探しカイロプラクティックの道に進みました。
カイロプラクティックってギリシャ語で『手技』という意味で、アメリカ発祥の西洋医学に近いよ科学的な療法です。
退社後2年間のカイロプラクティック専門学校に通い、3年の武者修行、9年の整形外科でのリハ

ビリ経験を経て、現在は東横線の反町駅徒歩4分のところで「よこはまカイロステーション」という治療院を開業して15年目になります。



2007年12月
よこはまカイロス
テーションを開業。
最新のカイロプラクティック
技術CBP (Chiropractic
BioPhysics) 技術でストレ
ートネック治療を主体に頭痛、
耳鳴り、めまい、吐き気、不
定愁訴などももちろん肩こり、
腰痛も施術します。

新運営委員紹介

また、昨今の厳しい環境下においても、「国内外の物流サービスを安全に提供できる総合物流企業」であることが最大の強みです。



相神 一裕
マクセル株式会社
取締役
監査等委員



小菅 貴春
株式会社
小菅不動産
代表取締役



中野 健一
元株式会社
横浜銀行 業務
渉外担当部長



田原 清彦
独立
コンサルタント



小林 二三夫
小林二三夫
行政書士事務所



坂本 郁夫
パラマウント
ベッド
株式会社
常務取締役

運営委員【奨学金】

小林 照夫



株式会社
トータル
ソリューション
代表取締役

- ①株式会社トータルソリューション 代表取締役
- ②NPO安心居住支援機構 理事長
- ③ウッドバンク 株式会社 代表取締役
- ④一般社団法人湘南里山ファーム 代表理事

株式会社小菅不動産は神奈川県大和市を中心に県央エリアで地域密着型の不動産事業を行い、賃貸管理をメイン事業として、賃貸仲介、売買、相続・資産コンサルティングを展開しています。
賃貸管理は居住用・事業用物件合わせて約6000戸の管理を受託し、地域密着の不動産コンサルティングを目指して活動しています。

運営委員【産官学】

1974年4月(株)近鉄エクスプレス(KWE)入社。1988年〜1991年 KWE/USA Boston支店長。1994年〜2001年 KWE/FRANCE社長。2002年〜2011年(株)近鉄エクスプレス(KWE)グループ経営戦略本部執行役員。国際物流(航空輸送、海上輸送、ロジスティクス)に従事。現在独立コンサルタント、神奈川大学吹奏楽部OB会名誉会長。



末吉 孝弘
株式会社東急ホテルズ
ザ・キャピトルホテル
東急 常務執行役員
総支配人

1947年に創業。医療用のベッドメーカーとしてスタートし、高齢化の進展を背景に、介護分野にも領域を拡大、様々な製品、サービスを提供しています。特に最近では、マットレスの下に敷いたセンサーにより、利用者の見守りや、そこで看護、介護される方々の負荷の軽減に貢献する製品に取り組みしており、予防の観点から健康事業、海外事業(アジアを中心に、8か国に事業所、工場がある)にも力を入れています。



石川 孝且
合気道部と大泉ゼミの思い出

昭和44年 経済学部貿易学科卒

1969(昭和44)年貿易学科卒の石川孝且と申します。本年

からフロンティアクラブに入会させて頂きました。どうかよろしく

お願いいたします。
3年生の頃から反戦運動、大学紛争などが顕著になり傍観者ではいられなくなってきました。色々考え立ち位置を模索しながら右往左往していましたが、ここでは学生生活の思い出として部活動と大

泉ゼミナールについて述べさせて頂きます。
部活の所属は体育会合気道部でした。きっかけは演武でのかっこよさと稽古についていけそうな感じがしたというだけの単純なものでしたが諸先輩と師範の先生方に

恵まれ充実した部活動でした。合宿では茨城県岩間にある開祖(創始者)植芝盛平翁先生の、木造の古い道場で宿泊し稽古をしました。今でも懐かしく思い出されます。卒業後数年間は勤務先近くの先輩の道場で稽古をしていましたが引越されもう50年も合気道とは疎遠となつています。奥深い合気道の入り口に立ったのみで終わってしまいました。

授に就任されました。まさしく学者の風貌で冗談など言える雰囲気ではなく近寄りたく先生の前では緊張もしました。どんな質問でも誠意をもって説明して下さいましたので、質問そのものが未熟で恥ずかしい思いをしたことも時にはありました。
先生の講義は経済政策学と商業学(商業本質論)でしたが私は先生執筆の随筆『自然と人と生活』勤草書房、『随筆一日一題』山陽新聞社編)に先生のものの方、考

え方、そしてお人柄の一端を知ると同時に社会人となってからの指針となりました。
勉学での思い出はゼミの他に先生からピグリーの『社会主義対資本主義』の原書講読を先生の部屋で受けさせて頂きました。どんな経緯で開催して頂いたのか記憶していませんが参加者は私と志澤君(故人)の2名で机を挟んで対面でしたので、これもまた緊張の連続でした。
私たちの卒業時1969(昭和

44)年は大学紛争の真ただ中にあり大学の要職にあった先生は困難な状況に正面から向き合いそのご苦労は並み大抵ではなかったと思います。
1946(昭和21)年愛知県碧南市生まれ。1969(昭和44)年貿易学科卒業。同年 岡崎信用金庫入社。1972(昭和47)年(株)七)年退社。同年寿金属工業(株)入社。2008(平成20)年退社

学生の活躍

ウレコンゴム製のローラーをベルトに挟んで上昇



宇宙エレベータープロジェクト クライマー世界最速記録 100.6km/h達成

本番2週間前に神奈川大学23号館の壁面で行われた事前実験では、下降時にブレーキが効かず約20mの高さからクライマーが落下してきてしまいました。落下の衝撃で、クライマーが大きく変形し、破損している部品もありました。ここから2週間という短い時間の中間と短い時間の中間、部員全員で協力しクライマーの修復を行いました。本番までに修復が間に合い、万全の状態です。世界記録への挑戦ができました。

当日は、快晴でしたが風が強くてザイヤーが大きく揺れクライマーの

昇降に影響がある可能性があります。ですが、最初の昇降で今までの世界記録である時速75kmを超える時速75・4kmを記録し、2回目の昇降では、時速78・7kmを記録しました。私たちの目標は時速80kmだったため、3回目の挑戦を行おうとしましたが、ここで動力を伝達するベルトが破損してしまいました。今までに、その部品が破損したことはなく、クライマーの出力を最大限まで上げた結果起きてしまったトラブルでしたが、いまままでにないトラブルでしたが、全員で対応し、その場でクライマーの修復を行いました。そして、最後の3回目の挑戦で世界記録の時速100・6kmを達成しました。このドラマチックな展開がテレビでも放映されて本



記録に挑んだ学生

に感激しました。今回、世界記録達成には多くの方々のご尽力あってこそでした。その方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも活動を続けていき、次の目標である時速200kmへの挑戦を続けていきたいと思っております。(宇宙エレベータープロジェクト前部長/機械工学科4年/磯端大輔)

の外観はほぼそのまま残したうえで、老朽化した設備を更新し、壁や天井を取り払い徹底した漏水結露対策及び耐震補強を行いました。さらには、内部や什器も一新し、21世紀型の総合学術センターとしての役割を果たしうる図書館へと生まれ変わりました。

1階は見通しが良く、開放的で活発な学習空間、グループで学習できる様々な席や、ゼミやプレゼ

ンテーションを行うガラス張りのグループワークルームを設置し、ラーニングコモンズとして機能します。さらに、飲食可能なラウンジを設け屋外のテラスを休憩スペースに転用、畳の小上がり等リフレッシュできる環境も整備しました。

2階は新しい図書館の中心となるフロアです。出入口を新設し総合カウンターへの動線を整備しました。既存の吹抜け空間にはブツ

クウォールを設け本学で生み出された教育研究成果を可視化する意味で学位論文を配架し、開放的な閲覧スペースとなりました。

3階4階は知の空間として、本棚に囲まれた閲覧席を設置した図書館らしい空間を実現しました。

4階は特に静かで落ち着きのある熟考の場として予約制の個人ブースも設置しました。

なお、新型コロナウイルス感染

拡大に伴い現在は休止しておりますが、卒業生の皆様には利用登録をいただきますと館内及び図書貸出利用が可能です。(カード実費の一部として500円を徴収)再開は、図書館ホームページ(<https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/>)でお知らせいたしますので、コロナ終息の折にはぜひご利用ください。(図書館事務部長 堀江美由紀)

神奈川大学図書館リニューアルオープン



既存の吹抜け空間を利用した開放的な閲覧スペース

県最大級150万冊以上の蔵書数

神奈川大学図書館は、県内最大級150万冊以上の蔵書数を誇る図書館です。創立50周年記念事業として1980年に建設された港町横浜に相応しいレンガ調の建物は横浜キャンパスの中心に位置し、キャンパスのランドマーク的存在としても親しまれてまいりましたが、この度、昨年1月から着手していた改修工事が完了し、4月5日にリニューアルオープンいたしました。本来であればフロンティアクラブ会員の皆様にもご出席を

いただき、盛大にセレモニーを行いたいところではございましたが、新型コロナウイルス感染がさらに拡大したこともあり、関係者のみにてテープカットを行いました。

本改修事業は、神奈川大学創立100周年に向けた将来構想、キャンパス新総合計画の一環として実施されました。竣工時には、全国から注目された立派な建物も、経年劣化によって雨漏りが頻発しており、旧式の空調システムでは近年の夏の猛暑に耐えられず、毎

本棚に囲まれた知の空間



年開架図書にカビが発生し、資料の劣化とともに利用者や業者への健康被害も案じられておりました。そこで、ランドマークとして

フロンティアクラブ会員紹介



宇高 稚彦

昭和53年 法学部法律学科卒

地域経済に微力ながら貢献

今回フロンティアクラブに入会させていただきました宇高稚彦と申します。昭和53年法学部法律学科を卒業しましたが、在学中の思い出は少ないのが正直なところですが、入学当初は学生運動も終息してきたかに見えた学内でしたが、定期的な紛争が勃発し、卒業までの4年間で前後期の試験を完全に受験できた事の記憶はあります。そして、その試験のレポート

提出への代替が無事に卒業出来た大きな要因に繋がったことは自覚し、同時に大切な勉強の時間を無駄にしたことも反省するところであります。

卒業後は入学時の希望としては、地方(宮崎)出身でしたので地元に戻り、公務員になる事でしたが、その為を選択した行政法ゼミ等での怠慢もあり叶いませんでした。結果的に、都内の信用金庫(芝信

用金庫)に入庫し、約40年間地域金融機関の中で多種多様な個人、事業先との関わりを通じて、人的に成長させて頂いたと同時に地域経済に微力ながら貢献出来たと自負しており、進路選択の後悔はありません。現在、4年前に信用金庫在職中の取引先(サンユー建設株式会社:スタンダード上場)へ縁あって転籍、常勤監査役として現在5年目を迎えております。

今回フロンティアクラブ入会のお誘いを頂き、現役経過している身ではありますが、神奈川大学で繋がる各方面の先輩や各世代諸氏との交流や母校への関わりを機会

が出来ればとの思いから入会させて頂きました。宜しくお願致します。

業紹介

サンユー建設株式会社は建設業を主業務として、ホテル・旅館、金属加工(ホームエレベーター製造等)、住宅販売、不動産賃貸、介護施設等を小規模ながら多角経営している会社です。不特定の業種先と関わっていた金融機関での経験を少しでも生かせればと現在各事業部門を定期的に訪問しながら、監査業務に携わっております。



ファブラボみなとみらい

経営学部准教授 道用 大介

2014年に湘南ひらつかキャンパスにて誕生した「ファブラボみなとみらい」として運営をスタートいたしました。みなとみらいというビジネス、文化が集積する

ラボと連携するグローバルネットワークでもあります。2021年春に「ファブラボ」の開設とともにその機能を移転し、2021年春に「ファブラボみなとみらい」として運営をスタートいたしました。みなとみらいというビジネス、文化が集積する

ファブラボでの学生たちの様子



立地にできた本学のみなとみらいキャンパスの「ソーシャルコモンズ」という共創空間の中に位置し、本学の学生や教職員はもちろん、社会人、次世代を担う若者、イノ



学生の作品例

ベーター、地域にお住まいの方などあらゆる方にご利用いただき、交流のきっかけを創出するとともに、ものづくりの可能性を広げ、利用者の皆さまのターニングポイントが生まれることを願って運営しております。お時間ございましたら、是非、学生が頑張っている姿を見に来ていただければと思います。

デジタル工作機器を備えた「みらい」の実験工房

く、カリキュラムも新科目を増設し、社会科学や人間科学、あるいは芸術学など幅広い教養も蓄え、地域の歴史や文化を愛し、また、既存の建築に関係する人々の心情や思いを理解しながら新時代に対応する建築の提案のできる人材―

建築専門家―を育成したいと考えたのです。そのため、建築学部は建築学科だけの1学科ですが、これまでの構造・環境・デザインの3つのコース制に新たに住生活学とまち再生の2つのコースを加え、5コ

ス制としました。また、新生建築学科を明確化するために、これまでの3コースを建築学系、デザインコースと新しい2つのコースを都市生活学系とし、都市生活学系は入試方法を文系入試でも受験できるようにしました。これにより、

建築学科の学生は、これまでの理系の学生とともに文系の学生もいることとなります。まさに文理融合の環境とし、お互いの能力を生かしながら切磋琢磨し、人々の幸せを追求する建築専門家をめざしてほしいと願っています。

建築学部が誕生！工学という枠から脱却を



2022年度内に利用を目指す工房(完成予想パース)

建築学部長 内田 青蔵

新しくなった製図室の1年生の作業風景



2022年4月1日、建築学部が開始しました。母体となった建築学科は1965年4月に、工学部の1学科として生まれ、卒業生は8000名余りを輩出しました。このように五十有余年の歴史を刻んだ建築学科でしたが、現代社会の変化に対応した建築教育と研究をめざすため、工学という枠から脱却し、建築学部へと独立することになりました。元来、建築という行為は、自然破壊と直結する活動です。ただ、バブル経済の下では建築活動は豊かさを実現する行為という美名を得て、大量生産・大量消費というスクラップ・アンド・ビルドの考えが定着してしまつたのです。しかしながら、バブル経済の崩壊後、日本の経済力は落ち込み、社会構成員である人口も減少し、また、社会も少子高齢化に向かっています。こうした中で、これまでの負の遺産としての地球環境に関わる問題が露呈し、また、取り壊されずに残された古い建築群は、積みも積もって、空き家問題となつていきます。こうした社会状況に立ち向かうためには、従来の新し



8号館4階のミニギャラリー

い建築をつくることだけをめざす建築学科から脱却し、新たに空き家など既存の建造物を有効活用し、また、人口減少で問題を抱える市町村や地域の再生をめざしたまちづくりなどをも担える教育を視野に入れた新生の建築学科が求められているのです。こうした社会の変動の中で、われわれは、これまでの「建築技術者」の養成から建築を介して豊かな生活を求めて社会に様々な提案のできる「建築専門家」の養成を目指すことにしました。高度な工学的知識や技術の習得だけではな

春の交流会



プレー前の集合写真

絶景の中、プレーを満喫

様々な年代の方々、フレンドリーな雰囲気の中、ゴルフだけでなくアフターも楽しめるコスパ最高のゴルフ会です。多くのフロンティアクラブメンバーの皆さまとお目にかかれることを今後も楽しみにしています。

4月23日(土)、昨日の雨も上がり初夏を感じさせるほどの絶好のハイキング日和。群馬からワクワクしながらフロンティアクラブ主催の「山歩き・散策の会」に参加しました。春原会長も参加され、参加者は事務局の皆さんを含めて10名。魅力的な行程を計画してくださったインストラクター小林照夫さんの先導で山歩きと自然散策を満喫しました。

当日は鎌倉駅からバスで「火の見下」まで移動し、そこから大仏切通、住友常磐住宅地、常磐邸跡地(タチンダイ)、常磐山緑地峯山、仏行寺、三嶋神社、笛田夫婦池公園など約六キロ。新緑萌ゆる木漏れ日の中を爽やかな空気を胸いっぱい吸い、ウグイスの鳴き声に聞き惚れながら息を弾ませて急な坂道の上下り下り体験。タイワンリスのお出迎え、羊歯植物や多様なタンポポ、色鮮やかな躑躅や水仙を愛で、野に喜々と遊ぶ子ども達の光景に癒やされた充実した一日となりました。



参加者の集合写真

爽やかな空気を胸いっぱい

で、関東女子ゴルフ選手権に出席される実力者だけあり、素晴らしいゴルフを披露してくださいました。表彰式では、皆さまからご提供いただいた賞品をたくさん頂戴し、参加費以上の満足感がありました。笑

こちらのゴルフ場は、富士山を望む絶景の中、開放的にプレーができるコースになっています。アップダウンが多く、様々なバリエーションでの打ち方を求められるため、とても勉強になりました。また、御殿場プレミアムアウトレットが隣接しているのので、いつもゴルフ会の帰りに立ち寄り、ソフトラクシームを食べながら、お得な価格で買い物ができるアフターゴルフも楽しんでいます。

ゴルフの会

天候にも恵まれ、皆さんの日頃の行いにより雨予報を裏切る青空の中、足柄森林カントリー倶楽部にて春の交流会が行われました。今回は、妻を同伴する予定でしたが都合が合わず、実弟と共に参加し、総勢20名でゴルフを楽しみました。

優勝はフロンティアクラブ副会長長實方誠一さんの奥様久美子さん

フロンティアサロン

これまで、年に6回ペースで開催してきたフロンティアサロンは、コロナ禍により大きな行動制限を受けることとなり、一堂に会して開催することが困難となっていました。

2021年からは、対面開催にこだわらずZOOMによるオンライン配信を実施し、地理的制約なく全国の会員の皆様も参加できるようにになりました。また、このことを契機に、講義を録画収録し、YouTubeチャンネルにアーカイブ保管することで、時間的な制約なしに講演終了後も何度も見返すことができるようになりました。さらに、従来はフロンティアクラブ会員のみに限定していたサロンを広く一般にも無料で開放し、多くの学生・保護者・職員などに貴重なお話を届けることができました。サロンの活動が、様々な方の目に触れることとなり、参加者も増加することで、活気が戻ってきたことを実感します。

今後も、皆さまに、新鮮な驚きと知的な興奮を味わっていただけるよう、心して運営してまいりますので、講師やテーマなどのリクエストがございましたら遠慮なく事務局までお知らせください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

フロンティアサロン 特別講演会

水泳部監督として歩んだ21年間

日本一になった奇跡！ 講師/舟橋道成氏 (神奈川大学水泳部監督)



【講演概要】日本学生選手権女子シード権獲得から10年、2年連続で日本一となり、名実ともに強豪校となった水泳部。それは奇跡といっても過言ではありません。大学水泳界は伝統校と言われるチームが長年にわたり君臨しているスポーツです。

ソフト面・ハード面、全てにおいて準備された大学に、当時、大学水泳界で全くの無名であったチームがどのような道で日本一を獲得していったのか、水泳部が取り組んできたことを紹介していきます。



新型コロナ感染症がもたらしたヘルスケア分野に於ける課題と将来の環境

講師/坂本郁夫氏 (バラムウントベッド株式会社 社常務取締役)

新型コロナ感染症は、世界一の高齢化国である日本の医療・介護に大きな課題を示しました。世界のお手本と言われたヘルスケア環境を再構築するための様々な変革やチャレンジについてお話します。



あなたのすぐ横にある

「未来の働き方」 夢や可能性を諦めない新しい働き方とは？

講師/小島正也氏 (ギグワークス株式会社取締役 管理本部長)

働き方改革が進む現在の日本の労働市場に、新たにギグワーカーという働き方が流行り始めています。様々な課題を含め、ギグワーカー株式会社が取り組んでいる新しい働き方とその事業内容をご紹介します。



神奈川大学時代のアルバイトを生業にすると決めた男の話

講師/我妻文男氏 (共栄セキユリティーサービス株式会社代表取締役社長)

学生生活でのアルバイトで民間警備の世界に飛び込み、生業とすることを決断した男は、激変する警備業界をどう生き抜いたのか。創業から株式上場を経て今に至るまで、これから描かれる警備業の未来像を語りま



第122回フロンティアサロン

築50年の団地で育む「未来社会で生きる力」

「団地で共同生活するサッカー部のユニークな取り組み」 講師/大森西三郎氏 (神奈川大学体育会男子サッカー部監督)

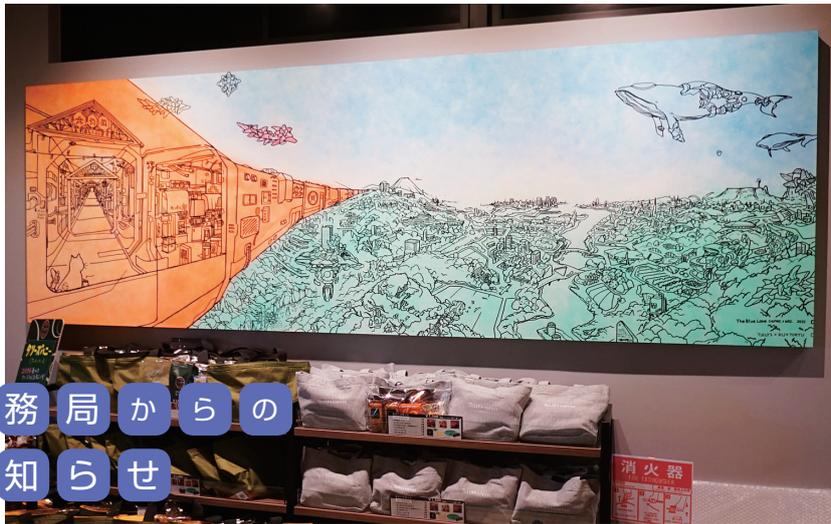
学生たちが育む「未来社会で生きる力」とは何なのか？地域やコミュニティはどう変化したのか？ サッカー部が地域社会や自治会と共同で推進する「竹山プロジェクト」の取り組みをご紹介します。



第124回フロンティアサロン

第123回フロンティアサロン

描きおろしイラスト



神大の書籍や冊子の展示コーナー

事務局からの
お知らせ

タリーズコーヒー KU白楽駅店 タリーズ×神奈川大学×東急電鉄のコラボカフェ

東急白楽駅のリニューアル工事が2021年3月に完了し、2階改札前に新たに「タリーズコーヒーKU白楽駅店」がオープンしました。コロナの渦中でのオープンだったため、大々的なイベントは行いませんでしたが、神奈川大学の初めてのコラボカフェとなりました。

改札をでると正面に大きなデジタルサイネージが目に入ります。ここではイベント情報や大学の最新映像などをご覧いただけます。

店内は「六角橋」にちなみ、六角形をモチーフにしたテーブルやタイルなど、随所にデザインの工夫が施されています。

店舗に入ってすぐ左側には神奈川大学のキービジュアルを使った幅3メートルにも及ぶオリジナルイラストが飾られており、横浜・大学・六角橋の近未来的イメージが表現されています。

その向かい側には神奈川大学の展示コーナーがあり、大学の出版物を展示しイベント情報などを伝えるとともに、プラウドブルーブランドのコスメ商品などを手に取って試せるようになっています。

コロナ禍のなかで、大学との

コラボ事業をうまく推進できないままオープンから一年が経過してしまいましたが、このたびやっと2022年2月より「写真研究部」の作品を店内に展示することができました。現在は、ひと月ごとにテーマを変え作品を展示しています。近くにお寄りの際はぜひおいしいコーヒーとともに、作品も味わってみてください。

店内でのイベントやミニコンサートなどの開催、大学関係者



写真研究部の作品展示

を対象にしたコーヒー教室の開催など、今後はさらに地域に密着した活動の場所として活用していきますので、ご期待ください。
(事務局千葉)

会費納入について

年会費の納入のお願いを6月上旬に発送いたします。金融機関から自動引き落としの会員の皆様につきましては、指定の口座より6月27日(月)に引落しいたします。

【ご報告】

今年度4月から担当する事務局の岩原(1999年3月 経済学科卒)です。

1997年の第73回大会8区(平塚-戸塚間)、1998年第74回大会9区(戸塚-鶴見間)を走り、夢にも見ることのできなかった総合優勝を、大後栄治監督の元で2回も勝ち取ることができました。

また、2021年6月には、地元の佐渡市で東京オリンピック聖火ランナーを務める貴重な体験もできました。

交流会、サロン等で皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

